

## 予算決算委員会会議録

### 1. 開催年月日

令和5年9月19日 開会 9時59分 閉会 11時25分

### 2. 開催場所

全員協議会室

### 3. 出席委員名

沖久教人	三宅孝之	多賀信祥	柳原英子
山下憲雄	細羽敏彦	西村慎次郎	荒木謙二
柳井一徳	惣台己吉	坊野公治	上野安是
西田久志	大滝文則	佐藤豊	

### 4. 欠席委員名

宮地俊則

### 5. その他の会議出席者

(1) 議長 三宅文雄

(2) 説明員

副市長	猪原慎太郎	総務部長	藤原雅彦
市民生活部長	久安伸明	健康福祉部長	沖津幸弘
建設経済部長	岡本健治	水道部長	一安直人
会計管理者	高木正文	市民生活部次長	毛利恵子
健康福祉部次長	片井啓介	水道部次長	曾根剛
監査委員事務局長	谷本充浩	病院事務部長	津組勇一郎
建設経済部参与	田中大三	税務課長	大山次郎
市民課長	藤井隆史	美星振興課長	藤井義信
介護保険課長	森川正康	下水道課長	馬越敏晴
病院総務課長	松山昌史	病院医事課長	吉田真介
福祉課長補佐	藤田昌巳	上水道課長補佐	柳本兼志
市民課戸籍住民係長	片山麻理	建設課管理係長	妹尾洋典

(3) 事務局職員

事務局長 和田広志 次長 成智千恵

### 6. 傍聴者

(1) 一般 0名

(2) 報 道 0名

7. 発言の概要

委員長（西田久志君） 皆さんおはようございます。

ただいまから予算決算委員会を開会いたします。

本日は、特別会計、財産区会計及び企業会計の決算を審査いたします。

審査の順序は、総務産業委員会関係分、厚生文教委員会関係分の順で審査を行いますので、よろしくお願いいたします。

〈認定第5号 令和4年度井原市産業団地開発事業特別会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第6号 令和4年度井原市美星地区畑地かんがい給水事業特別会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

委員（佐藤 豊君） 377ページの使用料及び手数料で、収入未済額があるんですが、要因はどういった要因でしょうか。

美星振興課長（藤井義信君） 収入未済額については3人分ということなんですけども、いずれも生活困窮によるものです。

参考までに、出納閉鎖後にうち2人から全額納付をいただきまして、現在1人分の収入未済となっております。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第7号 令和4年度井原市大倉財産区会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第8号 令和4年度井原市東水砂財産区会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第9号 令和4年度井原市宇戸財産区会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

委員（三宅孝之君） 歳入の繰入金なのですが、令和3年度が15万円だったのが、令和

4年度、45万円になっているところですけども、これ理由は、ちょっと教えていただきたいと思います。

**美星振興課長（藤井義信君）** 繰入金が増えたという理由でしょうか。ちょうど宇戸財産区の中で、先ほど水路修繕の工事2件分を予定していたものがありまして、池の周辺の水路で、平木排水路の修繕を予定していたことから、予算が少し不足するということで繰入金を増やしたものです。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第10号 令和4年度井原市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について〉

〈歳入歳出全般〉

**委員（山下憲雄君）** 水道事業、貸借対照表について質問をいたしますけども、現金預金が、9億4,600万円ぐらいありましたが、この妥当性についてご所見をお聞かせください。

**水道部次長（曾根 剛君）** 現金預金につきましては、水道事業を経営する中で1年間の料金収入分、約5億円ですよね、それが預金として残っていれば通常の良い経営と考えております。これはもう事業を進めていく上でどんどん減ってきますので、またここで料金改定等も行っていますので、その1年分の収益はキープしていくべきものだと考えております。

**委員（山下憲雄君）** ありがとうございます。

1年分の収益が何ぼですか、5億円、倍近い預金、現金ということですが、純資産とのバランスの中で、今後この現預金の妥当性を検討していただきたいと思います。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 可決及び認定〉

〈認定第12号 令和4年度井原市工業用水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について〉

〈歳入歳出全般〉

委員（山下憲雄君） 当然お分かりのことと思いますけれども、バランスシートも損益計算書も非常に最悪というたら最悪で、現実にはあり得ない財政状態になっているかと思えますけれども、結びにいろいろと今後は経営改善に努めるというふうに書いてございますけれども、これからの人口減とかいろんなことを考えたときに、この事業の持続可能性の抜本的な見直し等で何か奇策がありますでしょうか。

水道部長（一安直人君） ただいまの質問は工業用水道事業のことでしょうか、改めて確認をさせていただきます。

委員（山下憲雄君） 失礼。間違えました、また改めます。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 可決及び認定〉

〈認定第13号 令和4年度井原市簡易水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 可決及び認定〉

〈認定第14号 令和4年度井原市下水道事業会計決算について〉

〈歳入歳出全般〉

委員（山下憲雄君） 先ほどの質問ですが、勘違いしておりました。

下水道事業、これの財政状態、どの指標を取っても非常に最悪な状況なんです、これが今後の持続可能な運用を目指すというふうに結びでも表現なさっておりますけれども、抜本的な解決策があるのかその辺の、この一般会計を圧迫していく可能性も非常に強い、これだけじゃないんですけども、ありますので、この事業に対する今後の見解をお聞かせください。

下水道課長（馬越敏晴君） 山下委員さんからのご指摘のとおりで、大変厳しい経営状況となっております。経費回収率を見ましても100%に満たないという率でありますので、汚水処理費の削減が必要ということもありますが、使用料収入の確保というところも大事なことで、やっていく必要があると考えております。本年度、経営戦略のほうも見直しをしておりまして、そういった中で、今後持続可能な経営体系を維持していくためには何が必要かを検討してまいりたいと考えております。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈休憩中、執行部説明員入替え〉

〈認定第2号 令和4年度井原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について〉  
〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第3号 令和4年度井原市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について〉  
〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第4号 令和4年度井原市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について〉  
〈歳入歳出全般〉

委員（佐藤 豊君） ちょっと聞くんですが、333ページの収入未済額、具体的な要因は生活困窮ということなんでしょうか、どういった理由が大きいんでしょうか。

税務課長（大山次郎君） 介護保険料の収入未済額の要因ということですが、一番多い要因といたしましては、こちらで把握しているのは無計画な生活設計ということで、計画的な資金の準備をされていないというのが1番の要因でございまして、続いて生活困窮で、あとは亡くなられて徴税する方がもういらっしやらないというような順番になっており

ます。

**委員（佐藤 豊君）** その対応は何かお考えでしょうか。

**税務課長（大山次郎君）** 対応といたしましては、各保険者の方それぞれ要因は生活困窮とも言いながら異なるわけでございますので、それぞれお話を聞きまして、毎月納期というのがあるわけですが、可能な範囲でのお支払いができるような納付計画等を立てまして、計画的に納めていただくということにしております。

ただ、亡くなられた方につきましては、もうこちらは納付のほうがもうお願いできないということになりますので、いずれこちらは不納欠損という流れになろうかと思えます。

**委員（三宅孝之君）** 358ページの基金積立金についてお聞かせください。

介護給付費準備基金積立金はどういった目的で積立てされているか、ちょっと教えていただきたいと思えます。

**介護保険課長（森川正康君）** こちらのほうは、先ほどご説明したように今、令和3年度の余剰金と令和4年度の準備基金の利子を積立てたものでございまして、こちらのほうにつきましては、3年間で介護保険料というような計画見直しをしております、その安定的な給付費というか、支払いができるようするために基金として積み立てていくものでございます。

**委員（三宅孝之君）** 令和3年度は18万9,697円で、令和4年度は約8,000万円ということなんですけども、この積立金自体の金額は一定じゃなくて、余剰されたものからどれくらい積み立てするっていうのは、どういったところで決まるものですか、もう余剰がある分これだけはしようって、何か割合とか何かあるんでしょうか。

**介護保険課長（森川正康君）** その年々の決算に基づいて余剰金というのが確定いたしますので、特にその何か率があるとかそういうものではございません、そのときの年度の決算で余剰金が出ている、それで金額が変わってきますので、その年々によって金額が変わってくるかと思えます。

**委員（三宅孝之君）** そういった割合とか、もうそういった一定したものはないということではよろしいですか。もうその都度その都度で、これだけ余剰したものがあればそれを移すと、積立金に回すということいいですか。ありがとうございました。

〈なし〉

〈討論〉



〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第11号 令和4年度井原市病院事業会計決算について〉

〈歳入歳出全般〉

委員（山下憲雄君） この病院事業会計で流動資産の現金預金12億4,000万円というところで、令和3年度より4億円ぐらい増額しておると思いますが、これの妥当性についてご意見をお伺いします。

それと、同じく流動資産で貯蔵費、これの主な代表品についてご説明ください。

病院総務課長（松山昌史君） 12億4,000万円で、去年より約4億円増加しています。これのもう一番大きい理由は、国債を購入していたものを売却、満期になって売却したものが3億円あります、それが一番大きい要因となっています。あとコロナによる診療収入と、補助金による増額と考えております。

あと、すみません、もう一つは。

委員（山下憲雄君） 同じく貯蔵品の代表品目。

病院総務課長（松山昌史君） 貯蔵品に関しましては、医薬品となっています。

委員（山下憲雄君） 一般的に流動資産ですから、当座性の高いものということが常識的なのですが、医薬品でございますか。

病院総務課長（松山昌史君） 医薬品は公営企業法の中で貯蔵品として扱うということになっていますので、購入したものは貯蔵品として扱って、使ったものは材料費として支出しているような形になっています。

委員（山下憲雄君） ありがとうございます。

先ほどの現預金の残高ですけれども、妥当なところでしょうか。今後何かその預金残高の、いわゆる支払準備金としてどれぐらいが病院会計の中で見込まれるのかお伺いします。

病院総務課長（松山昌史君） 妥当性というものの明確な基準というのは病院会計の中ではありませんが、事業費の中で年間26億円ぐらいあると思います。その中でも毎月2億円から2億5,000万円ぐらい事業費があるんですが、その中の診療報酬が2か月後に収入になりますので、その2か月分ぐらいが妥当なところではないかなと考えております。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

委員長（西田久志君） 以上で付託案件の審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長にご一任願いたいと思います。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 閉会に当たり、執行部で何かございましたらお願いします。

副市長（猪原慎太郎君） 終わりに当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、先週の金曜日、それから本日の2日間にわたりまして慎重にご審議をいただきまして大変ありがとうございました。

令和4年度の決算におきましては、各事業でありますけれども、一部事業をやむなく繰り越しをしたものもございますけれども、その他各事業につきましてはおおむね良好に進捗できているものと思っております。

しかしながら、本市の財政状況といいますのは今後ますます厳しくなっていくことが予測をされております。スクラップ・アンド・ビルドの徹底、それからさらなる経費の節減、財源の確保にしっかり努めていかなければいけないと考えているところでございます。

それこそ今年の夏は大変暑うございましたが、彼岸が近くなってまいりまして、大変過ごしやすい時期を迎えようとしております。暑かった夏の疲れが出る時期とも言われております。皆様方におかれましては、くれぐれもお体をご自愛いただきたいと思います。2日間にわたりまして大変ありがとうございました。

〈議長あいさつ〉

委員長（西田久志君） 以上で予算決算委員会を閉会いたします。皆さんご苦労さまでした。